

(参考資料 - 1)

河川の水質調査について

1 . 国土交通省実施の河川水質調査について

調査の目的

河川環境の基本的構成要素である、河川湖沼等の水質について調査・監視するため昭和 3 3 年より一級河川の国管理区間で水質調査を実施している。

(昭和 3 3 年に 8 水系 5 4 地点で照査を開始した)

阿武隈川本川は昭和 3 6 年から水質調査を開始。

調査地点：伏黒、黒岩、阿久津、御代田、白河上流、白河下流

荒川は昭和 5 7 年から水質調査を開始。

調査地点：荒川橋、信夫橋

調査の概要

平成 1 6 年における一級河川の水質調査は、湖沼を含む国管理区間(一部指定区間：県知事管理等の管理区間含む) 1 0 9 水系 1 1 1 3 地点で実施した。

河川ランキングの対象河川

一級河川本川 国管理区間に調査地点が 2 つ以上ある河川

一級河川支川 国管理区間が概ね 1 0 km 以上かつ調査地点が 2 つ以上ある河川

とし、その河川数は 1 6 6 河川(東北では 2 6 河川)が対象。

各調査地点の B O D 年間平均値の平均をもってランク付けを行う。

2 . 福島市の荒川が日本一に選ばれたことについて

国土交通省が実施する水質調査のデータに基づくランキングでは荒川が県内初の日本一東北では平成 6 年(1 9 9 4 年)に山形県の寒河江川が日本一になった。